

---

# 神検体

のすけ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神検体

### 【Nコード】

N6232C

### 【作者名】

のすけ

### 【あらすじ】

神から3度の人生を送る検体として任命された男の人生

## 第1話

神検体

「起きろ！」

そんな物言いで雅人は起こされた。その物言いに少し怒りがわいたが、眠気もあり黙って雅人は布団からはいでた。眠たい目を擦りながら前をみると白いひげを生やした老人が立っていた。

その男は先が渦巻いた杖をもち、瞼で目が隠れていかにも、子供のアニメに出てきそうな神様の格好をしていた。男は雅人が起きたのを確認すると、

「今の人生に満足しておるか？お前は63億人の中から検体としての10人選ばれた。詳しいことは機会があれば話すが、お前はこの人生を含め3度人生を送ることができる。しかし、そんなことが世間に知れば、お前に検体としての価値はなくなる。よってこのことは一切の口外を禁止する。もしこのことが他人に知られた場合、お前と秘密を知った者は10分以内にこの世から存在を消さしてもらう。もちろん自然なかたちで」

雅人は男が不敵な笑みを浮かべるのを不快に思い、また男の話すペースの遅さにいらだちを感じ、話を遮った。

「あなたは誰や？ここは俺の家でこんな時間に俺を訪ねてくる人間なんておらん。しかも、あなたの話は全く意味わからん。」

すると、男が再び不敵な笑みを浮かべながら

「詳しく話してもお前には理解などできん。お前が守ることは口外しないこと、それだけだ。わしはお前を監視するという仕事をうけた。しっかり3度の人生を全うすることだ。」

男はその言葉が終ると同時に、雅人の前から消えていた。男が消えると強烈な眠気に襲われ、気がつくとうちにセットしていた目覚ましのアラームの音で起こされていた。

## 第2話

「アホらし」

雅人はそう言っただけでいつものように家に鍵をかけずに仕事場に出て行った。家に鍵をかけないのは5歳で両親をなくし、親戚からも引き取ってもらえず、親戚から借りることのできた貸家で一人、生活をしてきた時からの癖だった。家に入られても何もとるものがない。そういう状況が彼にこの癖をつけた。

雅人はごく普通の家庭に生まれた。ほかの家庭と違うことといえば、親戚に全くと言っていいほど真面目に働いている者いないことくらいだった。幼少期から両親に親戚とは一切かわらないように教育されていた。

しかし、こんな生活は、両親が結婚記念日に久しぶりに二人だけでフランス料理を食べに行った日に激変してしまう。両親が、飲酒運転のトラックに正面衝突され死亡。賠償金もほとんどを親戚にもつていかれる。5歳だった彼には少しの賠償金で一人さみしく過ごすしかなかった。

しかし、根が真面目だった彼は、グレルことなく20歳を迎える。しかし、真面目に勉強しても、働くことに時間がとられ、成績が良くなかった雅人には工事現場で働くしか生活が続ける術はなかった。現場で働きだしてから、4年。真面目だが目立つことはない雅人は後から入ってきた新米に追い抜かれ、いまだに雑用係として現場に通っていた。そして今日も平凡な一日が終わると思っていた。しかし、雅人は何の前触れもなく彼を目の敵にしていた頭領に辞表を提出する。

アホらしいと思いながらも、雅人は「あんな夢見るんも何かの縁や。今の生活をしていてもいつまでも貧乏なままや。何かすごいとこしたるんや。別に3回も人生なんかいらんわい。あかんかったら大阪湾に沈んで人生おわりや。」そう意気込んで、現場を後にする。

彼はその足で『なかよし金融』のドアをたたく。なかよしとは名ばかりの悪徳金融と雅人は知っていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6232c/>

---

神検体

2010年12月9日14時22分発行